

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



今月の色: クリスマス

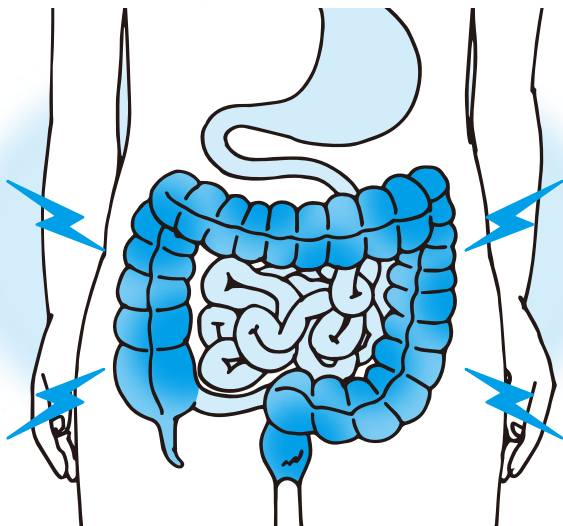
2019年
12月1日発行
No.474

December

12

特集 がんに克つ!①⑥ 大腸がん P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 大腸肛門科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 皮膚・排泄ケア認定看護師 P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

16

大腸がん

日本人の2人に1人が一生のうちには一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

大腸がんってなに?

大腸がんは大腸の粘膜に発生する病気です。高齢化・食生活の欧米化などにより増加傾向で年間約13万人の患者さんが新たに診断されています。また、がん罹患数(新たにがんと診断された数)は1位であり、男性・女性とも身近ながんの一つです。(国立がん研究センター がん統計より)

大腸がんのできる原因はわかっていませんが、①大腸ポリープが大きくなりがんになる経路 ②初めからがんが発生する経路 の2つがあり、まれですが遺伝するタイプもあります。

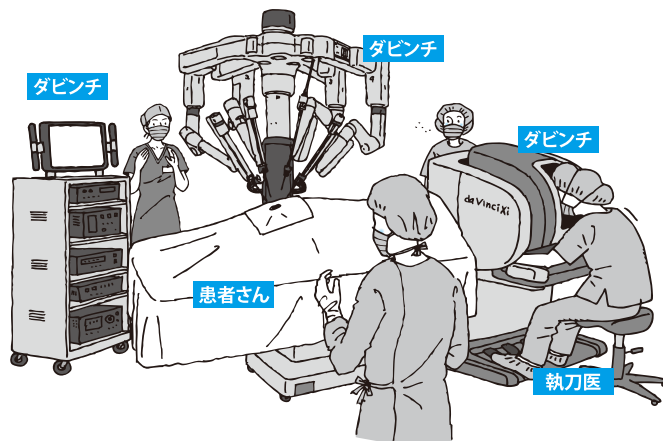
どんな手術をするの?

大腸がんの治療法には内視鏡治療、手術、化学療法(抗がん剤)、放射線療法などがあり進行度に応じて選

ばれます。大腸がんはがんを完全に切除できれば完治する可能性が高いため、たとえ転移があっても化学療法や放射線療法なども組み合わせながら積極的に手術を行います。

当科での大腸がん手術は、80～90%が腹腔鏡手術です。5～10mm程度の小さな穴を腹部に5カ所開けて、そこから専用の腹腔鏡と手術用具を入れて行います。手術内容は開腹手術と同じですが、きずが小さいため手術後の痛みが少なく回復も早いことが利点です。

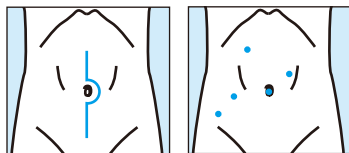
また、11月から大腸がんのひとつである直腸がんに対して「ダビンチ」を用いたロボット支援手術を導入しました。ロボット支援手術は、患者さんのからだにかかる負担を少なくした腹腔鏡手術の精度をさらに上げ、より正確な手術ができます。



※イラストはイメージです。

腹部に開けた
小さな穴に手術
器具を差し込み、
医師が手術台か
ら離れた操作
ボックスの中で

傷口のちがひ



開腹手術

ロボット支援手術

モニター画面に映し出された3D画像を見ながら、
ロボットアームを遠隔操作します。腹腔鏡手術と同
様の利点に加えて、排便・排尿・性功能に関わる神
経のさらなる機能温存が期待されています。

大腸がんは予防できる？

大腸がんを確実に予防する方法はありません。
やはり、がん予防法にある ①禁煙 ②節酒 ③食生活
の見直し ④適度な運動 ⑤適度な体重管理 が大切
です。また、早い段階で見つけることが重要です。出
血や排便異常などの症状に
注意することも大切ですが、
早期発見のひとつの手段とし
て便潜血検査(便に潜む血液
の有無を調べる検査)を受け
ることをお勧めします。検査で
陽性になった場合は精密検
査を受けるようにしましょう。



文責:大腸肛門科 部長 小林 靖幸

インフォメーション

年末年始 診療体制のご案内

2019年12月28日(土)～2020年1月5日(日)は休診いたします。
(12月28日(土)、1月4日(土)は一部の診療科のみ診療を行います)
緊急の場合は救急外来での対応となります。救急受診の場合は、必ず
事前に☎053-474-2222(代表)にお電話いただき、ご相談ください。

祝日・休日・時間外診療のお知らせ

当地域では、祝日・休日の日中は休日当番医、夜間は浜松市夜間救急室
が対応しています。診療時間等は新聞や市の広報等をご覧ください。

夜間救急室

浜松市中区伝馬町311番地の2 浜松市医師会館1階
TEL 053-455-0099

イベント情報

参加無料・申込不要 お気軽にお越しください

《第9回》脳卒中市民公開セミナー

内 容:ミニ劇場、講義、体操、体験・紹介コーナー

- ▶ 日 時 …… 2019年12月14日(土) 10:00～12:25(開場9:30)
- ▶ 場 所 …… 大会議室(医局管理棟地下1階)
- ▶ 問い合わせ… 地域医療連絡室(JUNC)
TEL 053-474-8801(平日9:00～17:00)

脳卒中センターは、10月に「一次脳卒中センター(PSC)」として認定されました

《第2回》がんに関する市民公開講座

テーマ:若年がん患者の将来を考える ～当院のがん生殖について～

- ▶ 日 時 …… 2019年12月21日(土) 13:00～14:50(開場12:30)
- ▶ 場 所 …… 大会議室(医局管理棟地下1階)
- ▶ 問い合わせ… がん診療支援センター
TEL 053-474-2614(平日8:30～17:00)
FAX 053-474-2615

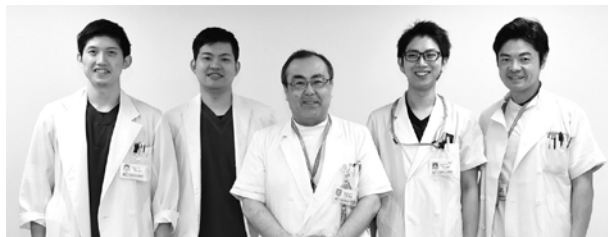
聖隷のクリスマス! ぜひご覧ください

- クリスマスツリー(B棟1階 吹き抜けロビー)
- クリスマスライトアップ(病院玄関)
- ▶ 期 間 …… 12月2日(月)～12月25日(水)
- ▶ 点灯時間 …… 17:00～21:00



大腸肛門科

大腸がん治療の向上を目指して



大腸肛門科では、大腸がんをはじめ炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）などの診断、治療、緩和医療を中心に診療を行っています。また、イボ痔・切れ痔などの肛門疾患も扱っています。

大腸がんの主な治療の1つである手術では、早期がん・進行がんを問わず身体への負担が少ない腹腔鏡手術を積極的に行い、可能な限り切除を行って完治を目指しています。切除不能な場合であっても患者さんのQOL（生活の質）を損なわない治療に取り組んでいます。また、手術の質や安全性を高めるために「ダビンチ」を使用したロボット支援手術を開始しました。

肛門疾患についてはクリニカルパスを導入し、約1週間以内で退院ができます。その他炎症性腸疾患では、年間約700～800例の大腸内視鏡検査も行っています。

今後も患者さんそれぞれの症状に合わせた最適な治療を提供していきます。

文責：大腸肛門科 部長 小林 靖幸（写真中央）

診療を支える
イバチャリスト

皮膚・排泄ケア 認定看護師



多職種と協働して
皮膚の健康を守ります

皮膚・排泄ケア認定看護師は、日本看護協会認定された傷や褥瘡（床ずれ）などの創傷、オストミー（人工肛門や人工膀胱）、失禁のケアを専門で行う看護師です。

褥瘡対策チームとして医師や栄養士、薬剤師などと連携しながら、褥瘡回診やカンファレンス、学習会を行い、褥瘡の予防と早期改善を目指して活動しています。入院中の患者さんに、人工肛門や人工膀胱の管理方法、日常生活の注意点、社会福祉制度などについて、病棟看護師とともに説明しています。また、当院にはストーマ外来があり、退院後もオストメイト（人工肛門や人工膀胱の保有者）の方が安心して暮らすことができるよう支援しています。

これからも院内外の多職種の医療者と協働し、皮膚・排泄ケアの看護の質の向上に取り組んでいきます。



文責：看護部 大杉 純子（写真）、奥田 希世子